

(別 添)

大 教 委 第 411 号
平 成 28 年 12 月 20 日

文部科学大臣 殿

大河原町長 齋 清志

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①耐震性の確保を図る整備

【達成状況】

<input checked="" type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	100.0	100.0
中学校	100.0	100.0
高等学校	—	—
特別支援学校	—	—
幼稚園	—	—

【所見】

金ヶ瀬小学校、大河原南小学校、大河原中学校の体育館の防災機能強化事業については、計画どおり実施することができた。なお、本町での学校建物について耐震化率は100%を達成していることから、各体育館での児童生徒の学校生活がより安全に送れるようになり、避難施設としても機能が充実した。また、金ヶ瀬中学校体育館等の増築事業、危険改築事業、中学校武道場新改築事業についても、計画どおり実施することができた。特に、体育館と武道場を一体整備、太陽光設備及び蓄電池設置の導入を一緒に行った結果、発災時の停電時には、生徒等の避難場所として十分発揮できるほか、地区の防災拠点としての役割も期待できるようになった。

外部評価委員や町民からは、学校施設が築40年を経過する建物が複数あり、今後の整備計画について長期にわたる学校の在り方を検討する必要があるのではないかと指摘がなされ、それを踏まえ来年度以降は、各学校施設の長寿命化計画策定及び整備について積極的に取り組んでいくこととする。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

該当なし

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達成状況 】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

金ヶ瀬中学校の武道場新改築事業については、計画どおり屋内運動場改築工事と一体整備することができた。特に、体育館と武道場を一体整備、太陽光設備及び蓄電池設置の導入を一緒に行った結果、発災時の停電時には、生徒等の避難場所として十分発揮でき、より安全で学習環境の質的な向上を図ることができた。外部評価委員からは、学力向上は教育活動の主な課題であるが、その裏付けとしては教育環境の整備であることは明らかです。更なる環境整備、改善に期待するとのことにより、今後は各学校施設の長寿命化計画策定及び整備について積極的に取り組んでいくこととする。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達成状況 】

<input type="checkbox"/> 計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

該当なし

2 事後評価の時期及び方法について

各工事完了後、各学校より意見聴取を行った。また、本町の定例教育委員会会議にて当初の事業計画・事業内容・成果について報告し承認を得た。平成28年9月に教育委員会が行った学校点検・評価の結果について、学識経験者2名より意見を頂き、点検・評価報告書を作成した。結果については、本町ホームページにて公表する。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計画していた事業について、計画どおり実施できた。特に、耐震化事業のうち本町の避難所として指定されている各小・中学校体育館の建築非構造部材の耐震化工事が本年度で完了することができた。また、老朽化が深刻であった金ヶ瀬中学校体育館の危険改築事業、増築事業と武道場新築事業が一体整備により完了し、手狭だった屋内運動施設も改善され、現在の学習にあった学校環境に整備された。しかし、他の学校施設についても、老朽化が進み、金ヶ瀬小学校校舎、大河原中学校体育館においては、築40年を経過しており、本町の学校建物について総点検を実施し、今後は各学校施設の長寿命化計画策定及び整備について積極的に取り組んでいくこととする。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 大河原町公立学校等施設整備計画

都道府県名	宮城県
市町村名	大河原町

2 計画作成主体 大河原町

3 計画期間 平成26年 ~ 平成27年

4 個別事業一覧

※この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
金ヶ瀬小学校	①	2201	防災機能強化	屋	R	○	平成28年2月26日				
大河原南小学校	①	2201	防災機能強化	屋	R	○	平成28年2月26日				
大河原中学校	①	2201	防災機能強化	屋	S	○	平成28年2月26日				
金ヶ瀬中学校	①	0201	危険改築	屋	S	○	平成28年3月24日				H26補正採択
金ヶ瀬中学校	①	2201	防災機能強化	一	S	○	平成28年3月24日				H27当初不採択により単独事業として実施
金ヶ瀬中学校	③	1401	中学校武道場新築	一	S	○	平成28年3月24日				
金ヶ瀬中学校	③	1401	中屋	屋	S	○	平成28年3月24日				H26補正採択